

“住みたい 住み続けたいまち”
とものつくろう みんなの夢大地

更別村の概要

＜令和2年度版＞



更別村民憲章

わたくしたちは、開拓精神に燃える更別の住民です。

常に先人の労苦をしのび雄大な平原を舞台に、未来に大きく伸びゆく郷土を創造する村民となるため、この憲章を定めます。

- 1 心とからだをきたえ、明るい村をつくりましょう
- 1 きまりを守り、力を合わせて住みよい村をつくりましょう
- 1 教養を高め、うるわしい文化の村をつくりましょう
- 1 広く産業をおこし、豊かな村をつくりましょう
- 1 郷土を愛し、平和な村をつくりましょう

I 更別村の沿革

1. 村章、村の木・花・村歌・更別音頭

	<p>『村章』 「更別」の村名を農産物であるじゃがいもやクローバーに模した葉形で包み、風雪に耐えぬいた先人の開拓者精神をもとに、未来へ大きく翔くことを表しています。昭和22年、更別村が大正村から分村して誕生したのを機に翌年条例で制定されました。</p>
	<p>『村の木 柏（かしわ）』 更別村に開拓の鋤がおろされるまでは、柏樹林が多く、先人はこの柏の木を薪炭、坑木、枕木などに販売して経済の支えとしていました。柏の巨木は、開発とともに希少価値が高く、また無骨なたくましが男性的で、大きく伸び行く更別村を象徴しています。</p>
	<p>『村の花 鈴蘭（すずらん）』 鈴蘭は、植物の特性から柏樹林に生息する草花で、柏と鈴蘭は対の草木です。鈴蘭は、葉の下に花をもち、純白、清純で香り高く美しく咲き、女性的な花で、無限に発展する更別村を象徴しています。</p>
	<p>『村のイメージキャラクター どんちゃん』 昭和60年誕生 特産品PRのためにイメージキャラクターを作ることになり、村の木である柏に成る実のどんぐりをモチーフとして作られました。小さな実から大きな木に育つように、村も発展して欲しいという願いが込められています。</p>
更別村歌	昭和23年制定。作詞三村鴻太、作曲西田直道。
更別音頭	昭和48年8月1日決定。

2. 位置と地勢

更別村の位置や自然条件をまとめると、次のとおりである。

- 北海道、十勝地方の南部に位置。東は幕別町、西は中札内村、南は大樹町、北は帯広市に接している。帯広市まで35 km。
- 総面積176.90 km²。東西25.3 km。南北14.7 kmで、東西に少し長めの土地。
- 日高山系の東側に位置。北東に向かってゆるやかに流れて傾斜。一部起伏があるものの、多くは平坦な土地。
- 総面積のうち、耕地面積が66%。
- 十勝内陸地方の気候で、年平均5～6度、年間降水量は1,200mm前後。降雪量は200cmと比較的多目。
- 夏は寒暖の差が大きく、冬は日照時間に恵まれている。



3. 更別村の特徴

冷涼で寒暖の差の大きい更別村は、農業に最適な土地。広大な土地を生かした大規模機械化農業は、一戸当たりの経営面積、トラクター所有台数ともに日本最大規模を誇ります。

4. 歴史・沿革

更別村の語源はアイヌ語の『サラ・ベツ』で葦・茅の生い茂る地の意味で、開拓前のサラベツ川、サッチャルベツ川流域は大草原地帯であった。

また、丘陵、高台地帯は柏の巨木が鬱蒼とした樹林帯を形成していた。

サラベツ村開拓の歴史は、明治38年勢雄川流域（字勢雄東1線11号付近）に山田嘉一郎が開墾の鋤をおろしたのが本村の始まりで、本格的には、大正6年に島根県、大正9年には愛媛・山形・青森県等から団体入植があり、大正末期になると150戸の入植者を数えた。

現在の村内地域はほとんどが幕別村（現幕別町）に属していたが、開発が進むにつれ行政・経済等の不便さから大正15年に一部の地域を除き大正村（現帯広市）に行政区画が変更された。

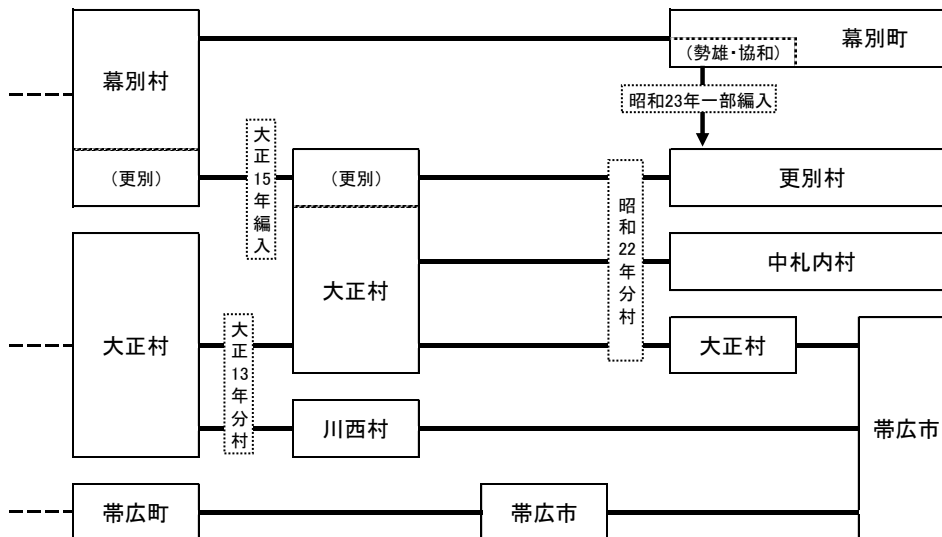
しかし、それでも更別村と大正村との立地条件の違いと更に行政の不便さがあつたこと等から住民の新村結成運動が展開された。

その結果、昭和22年9月1日地方自治法に基づく『更別村』の誕生を見、翌23年4月には幕別町の一部（勢雄・協和地区）を編入合併して現在に至っている。

5. 更別村のあゆみ

昭和22年 大正村から分村独立

昭和23年 村役場庁舎落成



- 昭和24年 勢雄・更南中学校開校と更別・上更別・更南中学校庁舎落成
- 昭和26年 大樹高等学校更別分校開校
- 昭和29年 国民健康保険更別診療所新築
- 昭和30年 上更別診療所新築
- 昭和35年 更別高等学校庁舎落成
- 昭和38年 上更別のヤチカンバが北海道天然記念物に指定
- 昭和39年 日本合同缶詰更別工場操業開始
- 昭和40年 第1次農業構造改善事業に着手
- 昭和44年 更別・上更別市街地の街頭放送開始
- 昭和45年 社会福祉センター落成・村民プール完成
- 昭和46年 勢雄中学校が更別中学校へ統合、総合計画完成、地籍調査着手
- 昭和47年 開村25周年記念式典挙行、村木『柏』・村花『すずらん』決定、更別村史発刊
更別食品(株)設立
- 昭和49年 簡易水道・営農用水共用開始、更別・上更別両幼稚園開園、消防救急車配置
- 昭和52年 全村の中学校を統合し更別中央中学校が開校、集落再編成により行政区を設置、農村総合モデル事業着手、開村30周年記念式典挙行
- 昭和54年 第1回ふるさとまつり開催
- 昭和55年 9月1日を『開村記念日』に制定、現役場庁舎・消防庁舎完成



- 昭和57年 更別高等学校道立移管、柔剣道場完成
- 昭和58年 農村環境改善センター完成、現更別小学校校舎新築
- 昭和59年 更南・勢雄小が更別小へ統合、更生・上協和小が上更別小へ統合、村民グラウンドを運動広場に、農業者トレーニングセンター完成
- 昭和61年 少年自然教室オープン、運動広場にゲートボール・テニスコート完成、道営畑地帯総合土地改良事業着手



農業者トレーニングセンター

- 昭和62年 開村40周年記念式典挙行、国鉄広尾線廃止
- 平成元年 村行政事務の電算処理開始
- 平成2年 どんぐり公園パークゴルフ場西コース完成、更生小が上更別小学校へ統合
- 平成3年 北海道ミニ独立国連邦サミット開催、国際スーパフェスティバル開催
- 平成4年 どんぐり公園パークゴルフ場東コース及びプラムハウス完成、リサイクルセンター完成
- 平成5年 コミュニティプール完成、十勝インターナショナルスピードウェイオープン、さらべつカントリーパークオープン



さらべつカントリーパーク

- 平成6年 老人保健福祉センター完成、福祉の里温泉オープン、屋内ゲートボール場オープン



老人保健福祉センター



福祉の里温泉

- 平成7年 上更別福祉館改築、東神橋建設、シルバーハウジング建設・全道4番目のLSA（生活援助員）付き住宅建設スタート
- 平成9年 更別村ふるさと館完成、開村50周年記念式典挙行、農村公園記念モニュメントにタイムカプセル埋設、宮城県矢本町と姉妹町村締結



ふるさと館

平成10年 防災行政無線システム更新、どんぐり商品券発行開始

平成11年 情報拠点施設観光と物産の館『道の駅さらべつ「ピポパ」』オープン、更別村地域振興券交付、農村公園にイルミネーション登場



道の駅さらべつ

平成12年 公的介護保険制度スタート、道の駅ピポパ改装、子育て支援用具貸出開始

平成13年 更別市街下水道供用開始、更別村高齢者生活福祉センター建設事業着手
国保診療所が医療法人社団カレスアライアンスと医療業務提携調印(医師2名体制)

平成14年 更別村高齢者生活福祉センター(福祉の里総合センター)完成、グループホーム元気の里さらべつ開設

平成15年 更別村農業協同組合新事務所完成、家庭系ごみ処理有料化スタート、第1回国際トラクターBAMBA開催、更別村景観保全条例制定、「十勝中央合併協議会」設置(幕別町・更別村・忠類村)



福祉の里総合センター

平成16年 開拓100年記念式典開催、更別小学校開校80周年、民設民営の認可保育所「どんぐり保育園」完成、更別村国民健康保険診療所移転改築オープン、上更別地域協働店舗オープン(有限責任中間法人オアシス運営)、「十勝中央合併協議会」離脱(住民アンケート6割が自立を支持)



国民健康保険診療所

平成17年 「協働のむらづくり住民検討会議」設置、姉妹町村「矢本町」が合併により「東松島市」となったことに伴い姉妹都市締結、ニチロ十勝食品新工場完成(更別食品から改組)、大津広美さん(更別区出身)トリノ冬季五輪出場、更別幼稚園改築オープン



更別幼稚園

平成18年 「受益と負担」の原則から施設使用料等を有料化、定住化対策の一環として「アグリチャレンジャー事業」に着手、「リラクタウン構想」計画の決定、天皇・皇后両陛下下行幸啓（9月9日）



天皇・皇后両陛下下行幸啓

平成19年 「農地・水・環境保全向上対策」の活動地域として上更別地域資源保全会が村と協定締結、コムニ団地分譲開始、29年ぶりに村長選挙実施、更別中央中学校開校30周年

高速無線情報通信網の完成により農家地区でインターネット通信がより快適化

平成20年 コムニの里さらべつ（小規模特別養護老人ホーム・小規模多機能型居介護施設：社会福祉法人博愛会）オープン、エコスクール事業着手、更別村公益通貨「サラリ」流通開始（特定非営利活動法人どんぐり村サラリ）、更別村教育の日を制定



コムニの里さらべつ

平成21年 更別憩の家移転新築竣工、更別村地域新エネルギービジョン策定、更別小学校に公共施設初の太陽光発電システム導入



更別憩の家

平成22年 新生「十勝スピードウェイ」営業開始、(株)マルハニチロ北日本本社設立、上更別小学校開校80周年、更別村市街地活性化実施計画策定、戸籍電算化システム運用開始

平成23年 東日本大震災による友好姉妹都市宮城県東松島市の被災地支援のため義援金・物資提供・応援職員の派遣を実施、マイマイガ大量発生、国際トラクターBAMBA実行委員会が第5回「わが村は美しくー北海道」運動コンクールで最高賞の金賞を受賞



救援物資搬送のため東松島市へ出発（3月18日）

平成24年 更別浄化センター太陽光発電設備導入、帯広地方石油業協同組合と「災害時における石油類燃料の供給に関する協定」締結、福祉の里温泉入浴者100万人達成、公営住宅（若葉団地）建設工事着手、グループホーム「元気の里さらべつ」移転新築、開村65周年記念札幌交響楽団更別公演開催、国際トラクターB AMBA実行委員会が「豊かなむらづくり全国表彰事業村づくり部門」で農林水産大臣賞を受賞、更別市街地区にNTT東日本「フレッツ光」サービス開始、社会福祉センター公衆無線LAN（フリースポット）設置、開村50周年「メッセージポスト」が15年を経て差出人（本人）へ送付



公営住宅（改築後の若葉団地）



元気の里さらべつ

平成25年 高規格道路幹線道路帯広・広尾自動車道中札内IC～更別IC間開通、第1回さらべつ大収穫祭開催（ふるさとまつりから時期変更、名称変更にて開催）、第1回さらべつすももの里まつり開催、ティー・ワイによるメガソーラー施設「さらべつソーラーパーク」稼働、更別小学校ユネスコスクールに認定



更別インターチェンジ開通式（3月17日）

平成26年 さらべつさんうどんアイデアレシコンテストグランプリに更別農業高等学校2年加工分会B「すももおろしうどん」、ツール・ド・北海道が更別村も会場に開催、北海道日本ハムファイターズB・B来村、フリースポット増設、農村公園大型遊具完成



大型遊具完成 10月26日

平成27年 高規格幹線道路帯広・広尾自動車道
更別IC～忠類大樹IC間開通、統一
地方選挙更別村長・更別村議会議
員選挙実施、更別森林組合と災害時
応急対策支援の協定締結、プレミア
ム商品券発売、更別街なか交流館m
a・n a・c a竣工、十勝スピード
ウェイ・メガソーラー供用開始



メガソーラー（竣工式11月2日）



プレミアム商品券発売6月6日



更別街なか交流館ma・n a・c a落成披露11月8日

平成28年 「フローズンパンツ」ギネス世界記録
挑戦、消防広域化により南十勝消防事
務組合更別支署から「とちか広域消防
局更別消防署」へ移行、子育て応援課
設置、子ども医療費助成制度を高校3
年生まで拡大、マルハニチロ北日本(株)
十勝工場がエア・ウォーター十勝食品
株式会社へ移行



福祉の里総合センター内に子育て応援課を新設

平成29年 地域創造複合施設竣工、更別農業高校
とエア・ウォーター十勝食品株式会
社が共同で特産品開発、十勝さらべつ熱
中小学校開校、開村70周年記念事業
開催、哺育・育成牛預託施設共用開始、
更別村商工会青年部創立50周年、北
海道日本ハムファイターズ更別村応
援大使来村



開村70周年記念事業
かしわ太鼓保存会25周年記念演奏会

平成30年 認定こども園上更別幼稚園改築オープン、福祉の里総合センターで公衆無線LANサービス開始、老人保健福祉センター内に「訪問看護ステーションかしわのもり はれ」開設



認定こども園上更別幼稚園

令和元年 医療法人社団秀和会による歯科診療所の運営開始、コミュニティ・スクールが始動、道の駅さらべつ創業20周年記念感謝祭開催、元内閣総理大臣・小泉純一郎氏講演会開催、昭和区及びふるさと館周辺でauの第5世代移動通信システム(5G)のサービス開始、学童保育施設「こどもの森」竣工



学童保育施設「こどもの森」

6. 更別村の主なイベント

5月	すももの里まつり	すももの花が見ごろを迎える時期に開催され、多くの家族連れなどで賑わう。
7月	ママチャリ耐久レース	十勝スピードウェイを会場に開催される耐久レース。毎年、多くの挑戦者が挑んでいる。
8月	どんぐりむらの盆踊り	毎年、お盆に開催され、役場前通りが家族連れで賑わう。
9月	更別神社秋季祭典	毎年9月1日に御輿と神社まつりが行われ、豊作を願う。
	上更別豊年踊り 上更別神社秋季祭典	毎年9月1日に豊年踊り、翌2日に神社の秋祭りが開催される。
10月	さらべつ大収穫祭	更別村の食を楽しむイベント。旬の野菜や美味しい食べ物を目当てに多くの方が来場する。
11月	村芸能発表会、展示会	発表会では幼稚園、小中学校、芸能団体による発表が行われ、展示会では保育園、幼稚園、小中学校、高校、文化団体による展示が実施される。
12月 ～2月	ときめきイルミネーション	12月から2月の間、農村公園の木がイルミネーションに彩られ、さらべつの冬を演出する。



すももの里まつり



ママチャリ耐久レース



さらべつ大収穫祭



ときめきイルミネーション

II 更別村の人と土地

更別村の人口推移は減少傾向にあるものの、子育て世帯への支援の充実等により比較的ゆるやかな減少でとどまっている状況です。また、民間賃貸住宅建設助成、新築住宅建設助成等もあり住環境整備が進んでいます。宅地分譲も進められ、すずらん団地、新緑町団地、セオイの里、コムニ団地、オークヴィレッジの他平成28年度には新緑町団地の追加分譲が行われた。

1. 人口と世帯数

【国勢調査（外国人含む）】

（世帯、人）

年／区分	世帯数	人 口			一世帯 平均人口
		総 数	男	女	
昭和60年	1,012	3,571	1,762	1,809	3.5
平成2年	1,003	3,433	1,669	1,764	3.4
平成12年	1,093	3,291	1,618	1,673	3.0
平成17年	1,190	3,326	1,645	1,681	2.8
平成22年	1,274	3,391	1,699	1,692	2.7
平成27年	1,239	3,185	1,567	1,618	2.6

※国勢調査世帯及び人口は住民基本台帳とは異なり、住所がなくとも3か月以上滞在している居住者及び世帯を対象に調査を実施。そのため、施設入所者・長期入院者・大学生等の村外居住者は滞在先での調査となるため本村の国勢調査対象世帯及び人口には含まれない。

【住民基本台帳人口及び世帯（外国人含む）】

（世帯、人）

年／区分	世帯数	人 口			一世帯 平均人口
		総 数	男	女	
平成28年3月	1,304	3,257	1,611	1,646	2.5
平成29年3月	1,317	3,259	1,612	1,647	2.5
平成30年3月	1,325	3,213	1,588	1,625	2.4
平成31年3月	1,325	3,155	1,558	1,597	2.4
令和2年3月	1,331	3,156	1,559	1,597	2.4

※住民基本台帳は本村に住民登録されている世帯及び人口。

2. 5歳階級別人口【住民基本台帳。令和2年3月末日現在】

（人、歳）

男	68	66	83	69	62	67	99	85	103	118	94	104	115	122	84	58	74	52	36
区 分	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	以上
	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79	84	90	
女	66	52	67	78	52	75	64	76	93	104	101	104	111	110	101	100	89	91	63

3. 土地利用状況【固定資産概要調書】

(ha)

年度／区分	総面積	内 訳						
		畑	宅地	山林	牧場	原野	雑種地	その他
平成 27 年	17,690	12,232	309	1,124	342	469	293	2,921
平成 28 年	17,690	12,231	313	1,122	342	470	292	2,920
平成 29 年	17,690	12,233	318	1,119	340	470	291	2,919
平成 30 年	17,690	12,230	323	1,110	338	471	299	2,919
令和 元年	17,690	12,216	326	1,114	338	464	298	2,934

III 更別村の産業の現状

村の基幹産業として農業はこれまで大きく発展を続けてきました。かつては、低地湿地であった土地に大変な思いをして農業を営んでいましたが、排水事業や農地造成、土地基盤整備が進み、豊かな恵みを生み出す大地と生まれ変わりました。最近では、減化学肥料、減農薬による環境にやさしい農業への取り組みも進めています。地球環境に負荷をかけない農業はまず土づくりからと堆肥づくりを行っています。

1. 産業別就業人口【平成 27 年国勢調査】

(人、%)

項目／区分	総 数	産 業 別		
		第 1 次	第 2 次	第 3 次
就 業 人 口	1,841	861	177	803
割 合	100.0	46.8	9.6	43.6

2. 専業・兼業別農家戸数

【世界農林業センサス(平 2・平 12・平 22)、農林業センサス(昭 60、平 7、平 17、平 27)】(戸)

年／区分	総農家戸数	内 訳			
		専 業	第 1 種兼業	第 2 種兼業	自給的農家
昭和 60 年	361	281	65	15	
平成 2 年	325	211	93	21	
平成 7 年	284	181	98	5	
平成 12 年	263	177	79	5	2
平成 17 年	247	171	73	3	0
平成 22 年	235	135	94	4	2
平成 27 年	224	147	68	8	1

3. 経営耕作地規模別農家戸数（販売農家）

【世界農林業への対比（平 2・平 12・平 22）、農林業への対比（昭 60、平 7、平 17、平 27）】（戸）

年／区分	総農家 戸 数	内 訳						
		0.1ha ～10ha 未満 <small>（経営耕地なし 含）</small>	10ha ～15ha 未満	15ha ～20ha 未満	20ha ～30ha 未満	30ha ～40ha 未満	40ha ～50ha 未満	50ha 以上
昭和 60 年	361	24	11	26	132			168
平成 2 年	325	19	7	11	109	133	37	9
平成 7 年	284	11	4	8	56	96	76	33
平成 12 年	261	12	5	6	30	76	80	52
平成 17 年	247	10		3	22		130	82
平成 22 年	233	7		2	10		110	104
平成 27 年	223	9		1	8		105	100

4. 農業の推移（販売農家）

【世界農林業への対比（平 2・平 12・平 22）、農林業への対比（昭 60、平 7、平 17、平 27）】

区分／年		昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
農家数 ／戸	総 数	361	325	284	261	247	233	223
	専 業	281	211	181	177	171	135	147
	第 1 種兼業	65	93	98	79	73	94	68
	第 2 種兼業	15	21	5	5	3	4	8
農家世帯	総 数	1,758	1,625	1,493	1,401	1,319	1,232	1,121
人口／人	1戸当り平均	4.9	5.0	5.3	5.4	5.3	5.3	5.2
農家就業	総 数	1,146	1,045	954	899	842	782	803
人口／人	1戸当り平均	3.2	3.2	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6
経営耕地 面積／ha	総 数	10,383.16	10,482.01	10,337.70	10,270.57	10,766.00	10,999.00	11,184.00
	1戸当り平均	28.8	32.3	36.4	39.4	43.6	47.2	50.2
	畑	7,732.89	8,060.67	9,599.08	9,948.85	8,476.00	8,921.0	8,328.0
	牧草専用地	2,650.27	2,421.34	738.62	321.72	2,290.00	2,078.0	1,874.0
トラクター保 有台数／台	総 数	860	917	977	1,053	1,097	1,093	1,224
1戸当り平均	2.4	2.8	3.4	4.0	4.4	4.6	5.5	

※農家総数は自給的農家除いた数値

※農業就業人口について昭 60 は自家農業に従事した世帯員数、他は自営農業に主として従事した世帯員数

※トラクター保有台数は歩行型除いた数値

5. 家畜飼養頭数の推移（販売農家）

【世界農林業の状況（平2・平12・平22）、農林業の状況（昭60、平7、平17、平27）】 （戸、頭）

年／区分	乳用牛		肉用牛		馬	
	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数
昭和60年	7,423	156	846	12	37	9
平成2年	7,376	138	786	6	52	7
平成7年	7,293	103	656	32	44	7
平成12年	7,073	84	1,709	30	23	4
平成17年	6,671	74	1,117	27	—	—
平成22年	6,193	64	1,836	33	—	—
平成27年	5,621	51	1,498	24	—	—

6. 主要作物作付面積の推移【村産業課・更別村農協】

(ha)

年／区分	総面積	内 訳					
		小麦	馬鈴薯	豆類	甜菜	飼料作物	その他
平成27年	10,880	1,940	1,885	2,413	1,759	2,347	536
平成28年	10,885	1,930	1,964	2,256	1,858	2,300	577
平成29年	10,958	1,799	2,032	2,259	1,892	2,358	618
平成30年	10,914	1,940	2,021	2,199	1,882	2,277	595
令和元年	10,923	1,908	1,963	2,317	1,872	2,349	514

7. 生乳生産量【更別村農協】

	生産量（t）
平成27年	27,740
平成28年	27,109
平成29年	26,431
平成30年	26,548
令和元年	26,707



雄大な馬鈴薯畑

8. 更別村営牧場の状況 【産業課】

年度／区分	放牧面積	乳牛	和牛	馬
平成27年	172.3ha	245頭	28頭	8頭(子3頭含)
平成28年	108.8ha	234頭	31頭	10頭(子4頭含)
平成29年	117.9ha	259頭	37頭	9頭(子4頭含)
平成30年	87.3ha	189頭	25頭	0頭(子頭含)
令和元年	97.7ha	186頭	21頭	0頭(子頭含)



村営牧場放牧風景

9. 商業の推移【商業統計調査・商業統計簡易調査・経済センサスー活動調査】

年／区分	商店数の推移		従業員数の推移	
	小売業	卸売業	小売業	卸売業
昭和 63 年	3 2 所	1 1 所	1 1 6 人	2 3 人
平成 6 年	4 5 所	6 所	1 5 0 人	1 4 人
平成 11 年	3 3 所	8 所	1 2 9 人	4 5 人
平成 14 年	3 7 所	6 所	1 3 8 人	4 0 人
平成 19 年	3 0 所	9 所	9 4 人	4 2 人
平成 26 年	2 4 所	5 所	9 2 人	2 4 人
平成 28 年	2 2 所	7 所	8 2 人	3 9 人

IV 更別村の生活環境の現状

道路整備や水洗化も進んでおり、平成 25 年 3 月には高規格幹線道路更別 I C が開通し、より利便性がよくなりました。また、環境にやさしい村づくりとしてリサイクル活動を進めているほか、エネルギー問題への対応として「新エネルギービジョン」に基づき太陽光発電システムの導入やバイオガスプラントなどの導入に取り組み、太陽光発電システム導入補助も実施しています。

1. 道路橋梁の整備状況【建設水道課】

令和 2 年 3 月末日現在

種別／区分	実延長	改良延長	舗装延長	橋数	橋梁延長
国 道	25, 247m	25, 247m	25, 247m	14 橋	236m
道 道	47, 384m	47, 384m	47, 384m	16 橋	318m
村 道	472, 442m	237, 226m	215, 842m	155 橋	2, 392m

2. 給水状況の推移【建設水道課】

年／区分	給水世帯	給水人口	普及率	給水量	1人1日平均給水量
平成 27 年	1, 280 戸	3, 205 人	98. 4%	454, 871 m ³	384 リットル／日
平成 28 年	1, 292 戸	3, 198 人	98. 2%	447, 346 m ³	380 リットル／日
平成 29 年	1, 301 戸	3, 154 人	98. 3%	453, 323 m ³	387 リットル／日
平成 30 年	1, 307 戸	3, 125 人	98. 3%	449, 955 m ³	391 リットル／日
令和 元年	1, 314 戸	3, 127 人	98. 3%	459, 472 m ³	400 リットル／日

3. 水洗化の推移【建設水道課】

(件)

年／区分	公共下水道	集落排水	個別排水
平成 27 年	8 6 1	4 4	2 2 7
平成 28 年	8 7 3	4 7	2 3 6
平成 29 年	8 8 7	4 9	2 4 2
平成 30 年	8 9 2	4 4	2 6 4
令和 元年	8 9 6	4 6	2 7 1

4. 家庭ごみ（一般廃棄物）収集処理の推移【住民生活課】

(t)

区分／年度	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年
廃 棄 処 理	297.55	283.04	295.32	302.83	306.65
可燃	196.05	190.75	201.96	201.70	205.89
不燃	101.50	92.29	93.36	101.13	100.76
リサイクル処理	534.87	557.97	570.91	507.17	491.56
一般資源ごみ	272.67	257.60	255.97	245.74	235.20
金属	29.94	25.44	27.41	30.25	23.42
ガレキ	21.15	39.95	19.11	5.31	6.45
木くず	103.45	92.79	114.31	81.78	84.64
生ごみ	49.13	46.39	51.77	52.30	47.10
花殻等	58.53	95.80	102.34	91.79	76.75

* リサイクル処理はリサイクルセンターで受入れた数量。



5. 村営住宅の状況【建設水道課】

令和 2 年 3 月末日現在

世 帯 用			単身者用	シルバー ハウジング	合計
2DK	2LDK	3LDK	1LDK	2LDK	
44 戸	72 戸	71 戸	56 戸	30 戸	273 戸

6. 村営バス運行実績の推移【建設水道課】

年度／区分	運行日数	利用人数	運行距離
平成 27 年	224 日	3,400 人	21,182km
平成 28 年	220 日	3,993 人	19,695km
平成 29 年	227 日	3,976 人	20,607km
平成 30 年	199 日	4,581 人	18,919km
令和 元年	198 日	5,152 人	18,432km



V 更別村の安心・安全を守る取組状況

平成 28 年度より十勝管内のすべての消防署が「とかち広域消防局」として新たにスタートし、南十勝消防事務組合更別支署はとかち広域消防局更別消防署となりました。市町村の境界に関係なく、最も近い消防署から現場に出動することとなり、現場への到着時間の短縮、また、広域連携が図られることとなりました。交通死亡事故は平成 25 年に 2 件発生したことを受け、さらなる予防啓発活動に取り組んでいます。

1. 消防施設・消防団の状況

【とかち広域消防局更別消防署】 令和 2 年度

区 分		数 量
消 防 施 設	水槽付ポンプ自動車	3台
	小型動力ポンプ積載車	1台
	小型動力ポンプ付水槽車	1台
	高規格救急自動車	1台
	指揮広報車	1台
	資機材搬送車	1台
	防火井戸	7基
	防火水槽	35基
	消火栓	41基
消防団	分 団 数	2分団
	団 員 数	65人



2. 救急車出動状況の推移

【～H27 南十勝消防事務組合更別支署、H28～ とかち広域消防局更別消防署】

区分／年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年
出動回数	121回	108回	96回	133回	125回
搬送人員	117人	104人	93人	135人	126人

3. 火災発生状況の推移

【～H27 南十勝消防事務組合更別支署、H28～ とかち広域消防局更別消防署】

区分／年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年
件 数	4回	3回	2回	3回	7回
損害額	417千円	452千円	665千円	500千円	19,443千円

4. 交通事故発生状況の推移【住民生活課】

年／区分	発 生		死 者		傷 者	
	全 道	更別村	全 道	更別村	全 道	更別村
平成 27 年	11,123 件	4 件	177 人	0 人	13,117 人	8 人
平成 28 年	11,329 件	5 件	158 人	0 人	13,489 人	4 人
平成 29 年	10,815 件	4 件	148 人	0 人	12,673 人	4 人
平成 30 年	9,931 件	2 件	141 人	1 人	11,494 人	1 人
令和 元年	9,595 件	4 件	152 人	0 人	11,046 人	6 人

VI 更別村の保健福祉の現状

誰もが心身ともに健やかに暮らせる村づくりを進めるため、乳幼児から高齢者まで定期的に健診を受けられる機会を設け、疾病予防や早期発見に役立てています。また、北海道家庭医療学センターとの提携による医師等の派遣、シルバーハウジング、生活支援ハウス、社会福祉法人博愛会による小規模特別養護老人ホームやデイサービス及び「訪問看護ステーションかしわのもりはれ」による訪問看護サービスなどにより、サービスの充実が図られています。

1. 国民健康保険事業の推移【保健福祉課】

区分／年度	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年
年平均世帯数 世帯	513	501	494	486	481
年平均被保険者数： 人	1,367	1,316	1,275	1,243	1,221
保険税総額： 千円	173,438	183,297	164,922	187,526	186,784
1人当保険税額： 円	126,614	138,809	129,213	150,736	152,976
1世帯当保険税額： 円	337,390	364,617	333,494	385,524	388,324
医療費総額： 千円	344,420	359,169	331,308	335,723	359,902
1世帯当医療費： 円	671,384	716,904	670,664	690,788	748,237
1人当医療費： 円	251,954	272,925	259,849	270,090	294,760

2. 介護保険事業の推移【保健福祉課】

(人、%：年度末)

年度／区分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	高齢化率
平成 27 年	26	21	36	24	20	15	156	28.66
平成 28 年	23	21	41	21	25	15	156	28.81
平成 29 年	29	31	37	22	21	16	168	29.38
平成 30 年	35	27	42	27	20	17	180	30.39
令和 元年	32	40	47	18	21	13	182	31.06

3. デイサービスセンター利用者数

【保健福祉課】 (人)

年度／区分	利用者数
平成 27 年	3,412
平成 28 年	3,596
平成 29 年	3,715
平成 30 年	3,706
令和 元年	3,271



福祉・医療・介護の連携を！

4 健康診査の状況【保健福祉課保健推進係、子育て応援課母子保健係】

1) 乳児健康診査（年度欄 延べ人数）

区分／年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
対象者数：人	103	143	81	105	100
受診者数：人	97	125	77	102	100
受診率：%	94.2	87.4	95.1	97.1	100.0

2) 1歳6か月健康診査

区分／年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
対象者数：人	20	29	34	20	25
受診者数：人	20	28	34	20	25
受診率：%	100.0	96.6	100.0	100.0	100.0

3) 3歳児健康診査

区分／年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
対象者数：人	23	25	21	29	33
受診者数：人	22	24	21	29	29
受診率：%	95.7	96.0	100.0	100.0	87.9

4) 特定健診

区分／年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
対象者数：人	760	729	718	701	670
受診者数：人	509	477	460	453	430
受診率：%	67.0	65.4	64.1	64.6	64.2

VII 更別村の教育の現状

学校教育はたくましさと心の豊かさを備えた幼児教育に始まり、知・徳・体の調和の取れた人間形成の取組みに向けて、平成20年11月制定の「更別村の教育の日」のもとに、学校と家庭そして地域が連携し教育環境の整備を進めています。また、村民一人ひとりが生きがいやゆとりを持てる村づくりを進めていくため各種講座開催や少年団活動、クラブ活動への支援を行っています。

1 園児・児童・生徒数の推移【学校基本調査、農業高校】 (人)

区分/年度		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
更別・ 上更別 幼稚園	男子	28	26	28	20	29
	女子	24	20	15	22	21
	総数	52	46	43	42	50
更別・ 上更別 小学校	男子	105	103	99	97	87
	女子	93	83	82	73	69
	総数	198	186	181	170	156
更別中央 中学校	男子	42	38	42	50	46
	女子	39	49	55	51	41
	総数	81	87	97	101	87
更別農業 高等学校	男子	89	81	79	80	73
	女子	53	49	47	49	43
	総数	141	130	126	129	116

2. スポーツ少年団の状況【教育委員会】 令和2年度

スポーツ名	少年団の名称	団員数
	上更別スポーツ少年団	19名
野球	更別野球少年団	18名
柔道	更別柔道少年団	7名
スケート	更別スケート少年団	61名
水泳	更別水泳少年団	32名
バレーボール	更別JVC	15名
	合計	152名

3. 未広学級（高齢者学級）・講座の推移【教育委員会】

区分/年度		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
未広 学級	生徒数	196人	185人	176人	161人	150人
	開催日数	23日	23日	23日	23日	23日
	クラブ数	6部	6部	7部	7部	5部
趣味 講座	講座数	21講座	18講座	18講座	15講座	18講座
	受講者数	185人	182人	157人	141人	144人

4 「海と大地」子ども交流事業【教育委員会】

友好姉妹都市 宮城県東松島市（旧矢本町）

年月	内容
昭和 58 年	更別村青年団国内研修団が矢本町を視察訪問
平成 3 年	矢本町子ども交流訪問団が更別村来村（第 1 回子ども交流）
平成 4 年	更別村子ども交流訪問団が矢本町訪問（以後、交互に訪問）
平成 9 年	開村 50 周年記念事業として、矢本町と更別村が友好姉妹町村盟約を締結
平成 17 年	矢本町と鳴瀬町が合併し東松島市が誕生し、改めて友好姉妹都市盟約を締結
平成 18 年	東松島市と災害時相互応援協定を締結
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生（3 月 11 日）による支援のため義援金、物資提供及び応援職員を派遣
平成 23 年 11 月	東松島市子ども交流訪問団が更別村来村（第 21 回子ども交流）以後、毎年相互に訪問し交流

5 更別村の郷土芸能【教育委員会】

スッチョイサ踊り保存会	スッチョイサ踊りは昭和 61 年、村に郷土芸能を創造しようとする当時の社会教育委員会（道見直盛委員長）が「郷土芸能専門委員会」を設置し、発掘調査に着手したのをきっかけに誕生。同委員会は昭和 20 年代に勢雄、平和、旭各地区などで豊年祈願として受け継がれていたスッチョイサ踊りに注目。調査の結果、石川県からの開拓移民が伝えた踊りが更別に根付く中で、変化してきた独自のものと考えられ、村の伝承郷土芸能として登録された。現在は、通学合宿や子ども交流の中で体験の機会が設けられている。
さらべつかしわ太鼓保存会	村の新しい郷土芸能として、平成 3 年に保存会が設立。勇壮なバチさばきによる演奏は高い評価を受けている。現在は保存会及び保存会が指導する少年部も活動し、トラクター BAMB A や大収穫祭をはじめ、村外のイベントでも演奏を披露している。かしわ太鼓設立時に作られた大きな柏の幹をくり貫いて作った太鼓は少年部が主に演奏する「勇駒」の中で使用されている。

天然記念物

更別温原ヤチカンバ

昭和三八年七月二六日

北海道天然記念物に指定

このヤチカンバは灌木性のカンバでヒメカンバ類と呼ばれ、主に北極のシベリア地方に分布し、灌木帯を形成している。

北極のシベリアに灌木帯が形成されたのは数万年前の氷河期に十勝地方にはこの温帯帯であったが、その生育条件に適した更別温原に遷移したものである。この温帯帯の生育条件のもとで、種の固有化が進み新種となったものと推定されている。

ヤチカンバの分布は極域からシベリアの亜極域まで分布しているが、その分布域は、氷河期以後の極地植物の固有化、地質学、地理学、気象学、進化生物学などによって、高度な研究が必要とされている。

このヤチカンバは、北海道大学農学部・園芸学部の研究により、渡辺定夫、大木生治らにより、分類学的研究の結果、昭和三四年十一月、新種であることが発表されたものである。

平成四年十一月三日
更別村教育委員会

更別発祥の地

更別村字勢雄東一線一―号
明治三八年（一九〇五）五月

更別の開拓前の姿は、アイヌの人々がつけた地名（サラ・ハツ）どおり、見渡す限りの芦葦に覆われた広大な草原と、丘陵高台地帯の一面柏の続く樹林であった。明治三年の現更別村域には、イタラタラ千原野の紹介記事が初めて掲載され、明治三八年最初の開拓のクワを入れたのが、富山県西礪波郡西五位村出身の山田嘉一郎兄弟である。嘉一郎氏は、政治・経済・教育と多岐にわたって活躍し、明治三九年第一回更別村会議員・大正六年（一九一七）『私立平糠教授場』を更別で最初の学校（生徒九名、先生一名）として開設した。

大正	六年	島根 団 体 入植
	九年	愛媛・山形・青森 団 体 入植
	十年	徳島 団 体 入植
	十五年	広島・群馬 団 体 入植
昭和	五年	香川 団 体 入植
	二十年	戦後 開拓 集 団 入植
	二十三年	勢雄・協和地区・更別村に編入

昭和三二（一九四七）年九月一日 大正村から更別村分村独立

現在地 寄贈 中央町 山内一房氏
平成五年十一月二日建設
更別村教育委員会

VIII 更別村の行政の現状

1. 令和2年度一般会計予算

歳	科 目	金額 (千円)
	村 税	648,795
地 方 譲 与 税	137,811	
利 子 割 交 付 金	579	
配 当 割 交 付 金	870	
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	737	
地 方 消 費 税 交 付 金	64,467	
環 境 性 能 割 交 付 金	11,320	
地 方 特 例 交 付 金	2,852	
地 方 交 付 税	1,920,000	
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	785	
分 担 金 及 び 負 担 金	62,091	
使 用 料 及 び 手 数 料	135,763	
国 庫 支 出 金	350,486	
道 支 出 金	266,410	
財 産 収 入	18,618	
寄 附 金	16,000	
繰 入 金	398,721	
繰 越 金	50,000	
諸 収 入	77,398	
村 債	421,768	
歳 入 合 計	4,585,471	

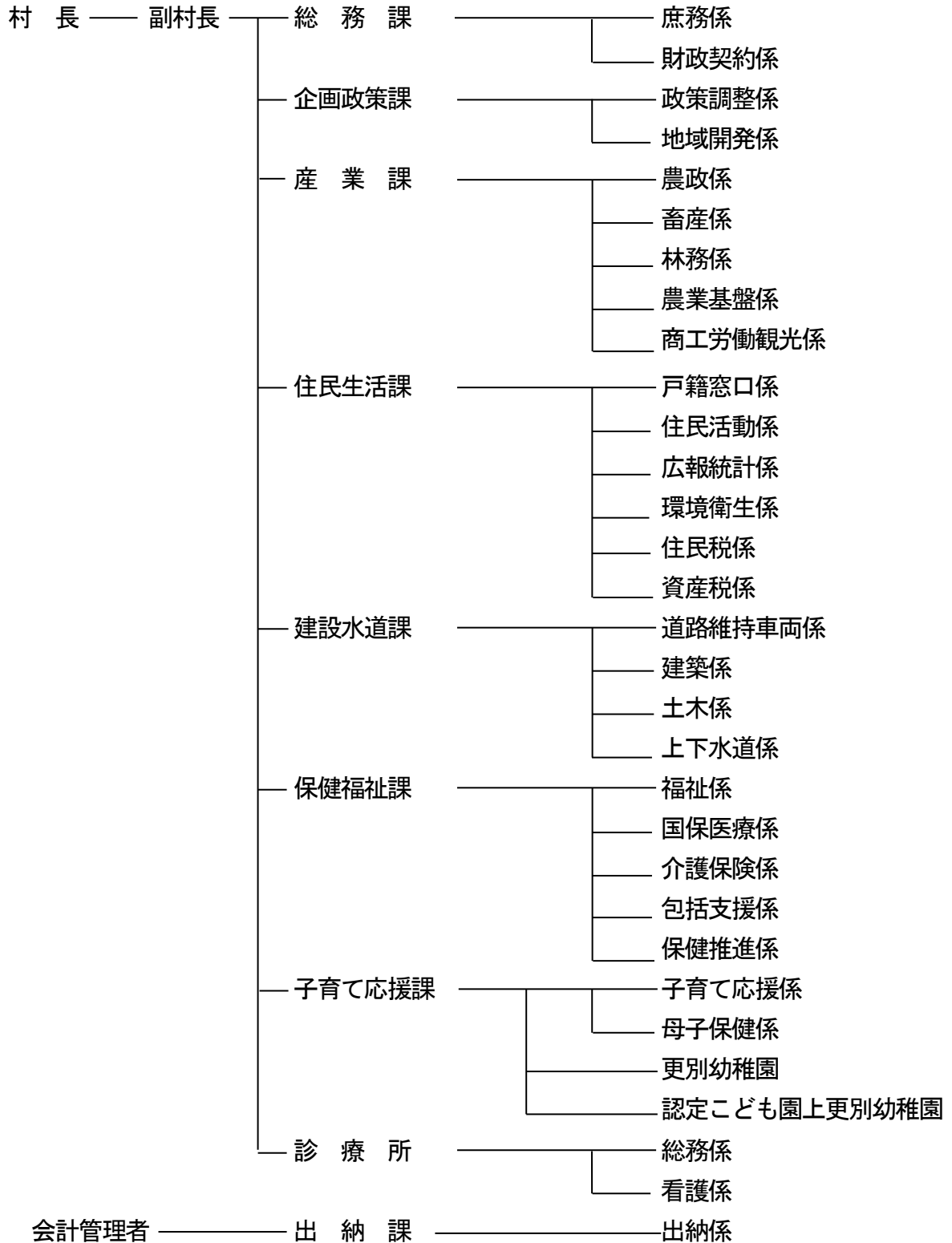
歳	科 目	金額 (千円)
	議 会 費	50,316
総 務 費	948,878	
民 生 費	645,670	
衛 生 費	345,266	
労 働 費	5,136	
農 林 水 産 業 費	399,008	
商 工 費	118,989	
土 木 費	577,041	
消 防 費	260,866	
教 育 費	522,728	
災 害 復 旧 費	4,391	
公 債 費	702,784	
諸 支 出 金	1,898	
予 備 費	2,500	
歳 出 合 計	4,585,471	

2. 公共施設の年間利用状況

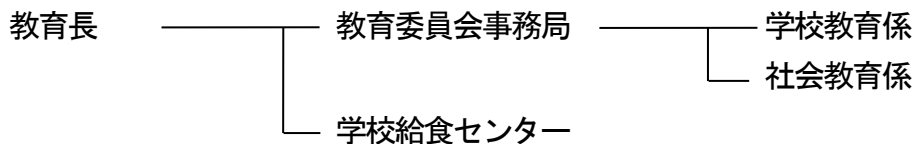
区分／年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
更別村社会福祉センター	9,248人	7,959人	8,655人	9,880人	8,375人
更別村農業者トレーニングセンター	15,079人	14,470人	14,580人	15,044人	12,154人
更別村コミュニティプール	8,616人	8,176人	6,853人	7,051人	5,958人
更別村ふるさと館	13,142人	14,720人	14,526人	14,999人	12,361人
更別村柔剣道場	1,915人	2,071人	1,445人	1,290人	1,532人
更別村老人保健福祉センター福祉の里温泉	40,322人	39,257人	38,448人	38,679人	35,503人
更別村農村環境改善センター	11,691人	11,268人	10,677人	10,774人	8,787人
改善センター図書室	9,205冊	9,270冊	9,316冊	10,003冊	8,798冊

3. 行政機構・議会構成【令和2年4月1日現在】

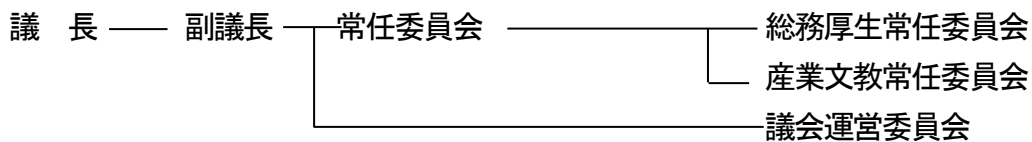
■ 役 場



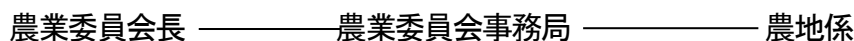
■ 教育委員会



■ 議 会 ————— 事務局



■ 農業委員会



■ 監査委員会・公平委員会・選挙管理委員会 ————— 事務局

■ とかち広域消防局



施 設 名		TEL	FAX
村 関 係	更別村役場	52- 2111	52- 2812
	更別村社会福祉センター	52- 2111	52- 2812
	更別村教育委員会	52- 3171	52- 3173
	更別村農村環境改善センター	52- 3171	52- 3173
	更別村柔剣道場	52- 3171	52- 3173
	更別村農業者トレーニングセンター	52- 3171	52- 3173
	更別村コミュニティプール	52- 3503	
	更別村ふるさと館	52- 2211	53- 3005
	更別村屋内ゲートボール場	52- 3538	
	更別村国民健康保険診療所	52- 2301	53- 2100
	更別村歯科診療所	52- 2128	
	更別村老人保健福祉センター (社会福祉協議会)	53- 3500	52- 2161
更別村保健福祉課 (更別村福祉の里総合センター内)	53- 3000	53- 2111	

4. 主要官公署一覧（市外局番0155）

	更別村子育て応援課（更別村福祉の里総合センター内）	53- 3700	53- 2111
	生活支援ハウス	52- 2233	52- 2161
	シルバーハウジング	52- 2320	
	更別浄化センター	53- 3002	
	更別憩の家	52- 2666	
	上更別福祉館	52- 3131	
	とかち広域消防事務組合更別消防署	52- 2201	52- 2032
	上更別消防会館	52- 3000	
	更別村営牧場	52- 2459	
	さらべつどんぐり公園（プラムハウス）	52- 2406	52- 2406
	道の駅さらべつ「ピポパ」	53- 3663	53- 3301
	さらべつカントリーパーク	52- 5656	52- 5600
	更別村地域創造複合施設（十勝さらべつ熱中小学校）	66- 4554	
学 校 等	更別幼稚園	52- 2363	52- 2518
	認定こども園上更別幼稚園	52- 2470	52- 2769
	どんぐり保育園	52- 3576	52- 3579
	更別村学童保育所	52- 3576	52- 3579
	更別小学校	52- 2360	52- 3571
	上更別小学校	52- 2461	52- 3581
	更別中央中学校	52- 2838	52- 3591
	更別農業高等学校	52- 2362	52- 2261
	更別村学校給食センター	52- 2125	52- 2668

施設名		TEL	FAX
国・道関係	帯広警察署更別警察官駐在所	52- 3232	52- 3232
	更別郵便局	52- 2200	52- 2533
	上更別郵便局	52- 2300	52- 2566
各種団体	更別村農業協同組合	52- 2377	52- 3264
	十勝農業共済組合南部事業所更別家畜診療所	52- 2316	52- 2317
	更別村商工会	52- 2010	52- 2019
	更別森林組合	52- 2068	52- 2404



更別村長 西山 猛

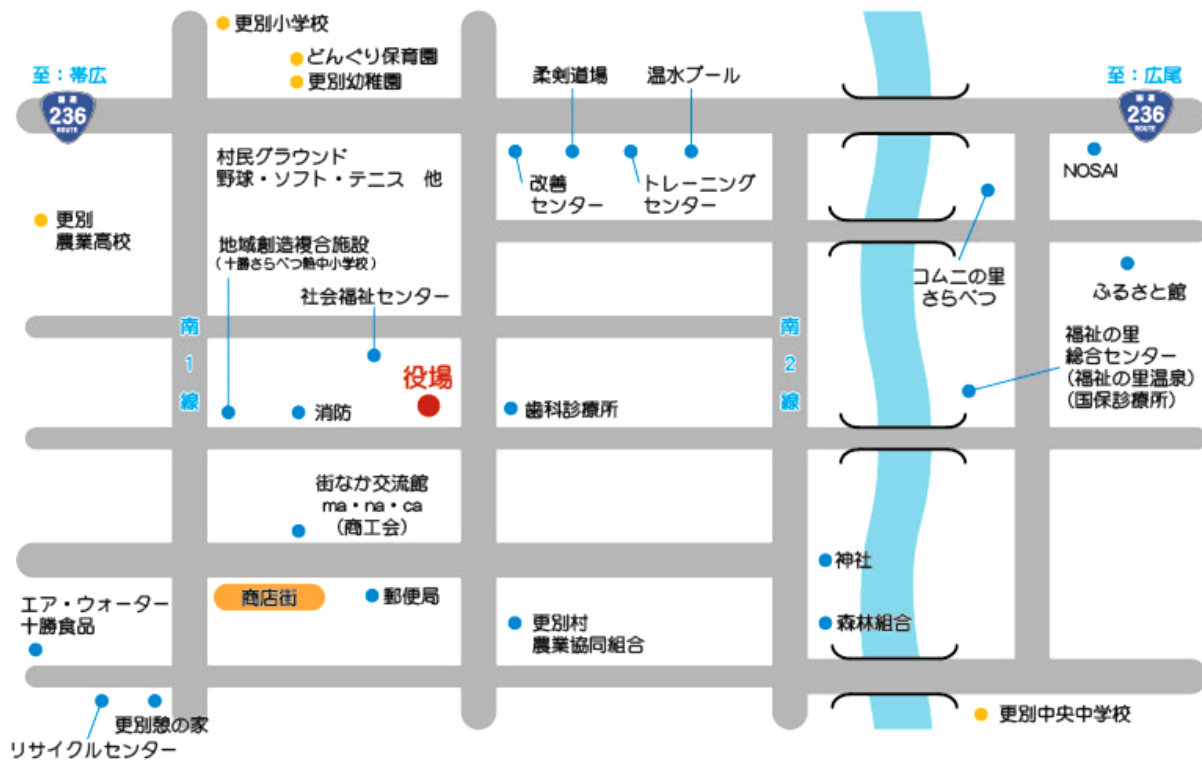


更別村は、帯広空港から車で南へ10分の所にあります。帯広空港から羽田空港へのフライト時間は1時間30分なので、東京への所用は日帰りが可能であり、「首都圏域と隣接した田園」のイメージにピッタリの村です。

本村は、農家1戸当たり東京ドーム約10個分以上(50.2ha)の農地を有する日本随一の大型農業の村であり、食糧生産基地です。また、国民健康保険の一人当たりの医療費の低さや合計特殊出生率(女性が一生に生む子供の平均数)の高さから健康と豊かさを実感できる村です。自立する村として「いつまでも住み続けたいまち」を総合計画の目標にがんばっております。北海道・十勝にお出かけの際は、雄大な日高山脈が一望でき、広大な十勝平野の真ん中に位置する更別村にぜひお立ち寄り下さい。



更別村市街地図



【更別村のビューポイント】



どんぐり公園横の「すももの里」。5月下旬には白い花をいっぱい咲かせ、秋にはおいしい実をたくさんつけます。



更別村は全国からカメラマンが訪れるほど、知る人ぞ知る霧氷の美しいところです。撮影ポイントは勢雄地区。氷点下20℃以下になる寒い朝、猿別川の水面から立ち上る水蒸気が霧氷となり、幻想の世界をつくり出します。



初夏の小麦畑。畑には連作による発育障害をなくすために、毎年違う作物がつけられるので、同じに見える風景も毎年表情が変わります。晩夏に近づくると小麦畑は黄金色に染まり、いよいよ収穫の時を迎えます。



秋に掘り残されたじゃがいも（野良イモ）退治のために、トラクターでつけられた雪の模様。大きな波のようで、冬の新しい風物です。



更別村を代表する作物「じゃがいも」。初夏には白やピンクの花が咲き、一面見事な花畑になります。



小柏の林が防風林などとして残されています。柏の紅葉は鮮やかで、その葉は新緑が出てくるまで、枝から落ちないで残っています。



昔、イタラタラキ川流域は葎（あし）、茅（かや）の密生した平原でした。周囲が畑地になった今も、川の流れは変わらぬ美しさです。

この他にもたくさんのビューポイントがありますので、更別村ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/> をご覧ください。

【更別村の特産品】

従来の特産品に加え、特産品開発チャレンジ事業を活用し、村内のお店で様々な開発が行われています。



(農産物)



(つぶつぶでんぷん)



(さらべつ和牛ビーフカレー)
—
(更別農高カレー)



(さらべつすもものむヨーグルト)



(どんぐりむらのポテトチップス)



(オショロコマ・ヤマバ・ニジマス)



(更別すももワイン)



(すもものチーズケーキ)



(さらべつさんうどん生麺)

この他にもイオンたまご、うどん乾麺、はちみつ、すももジャム、すももサイダー、すももドレッシング、菜の花オイル、つぶあん、甘納豆などがありますので、ぜひ更別村にお立ち寄りください。

令和2年6月発行
更別村住民生活課広報統計係
北海道河西郡更別村字更別南1線93番地
電話 0155-52-2112 FAX 0155-52-3286
HP <http://www.sarabetsu.jp/>
e-mail jyumin@sarabetsu.jp